



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月13日
東

上場会社名 株式会社カヤック 上場取引所
コード番号 3904 URL <http://www.kayac.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 柳澤 大輔
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 藤川 綱司 (TEL) 0467-61-3399
四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績 (平成28年1月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	1,143	—	123	—	151	—	99	—
27年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 120百万円(—%) 27年12月期第1四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	13.23	13.00
27年12月期第1四半期	—	—

(注) 平成27年12月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成27年12月期第1半期の数値及び対同年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第1四半期	2,904	1,803	61.7
27年12月期	2,631	1,670	63.1

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 1,791百万円 27年12月期 1,660百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	37.6	515	31.1	530	33.9	330	26.3	43.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期1Q	7,518,500株	27年12月期	7,514,000株
② 期末自己株式数	28年12月期1Q	一株	27年12月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期1Q	7,515,352株	27年12月期1Q	7,514,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営の内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測のいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、当第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、政府及び日銀による経済政策・金融緩和政策等を背景として企業収益や雇用情勢の改善がみられるなど、全体として緩やかな回復基調となりました。

当社グループを取り巻く事業環境としまして、平成26年12月末のスマートフォン保有率は64.2%と過半数を超えるまで拡大しており、インターネット環境は発展を続けております(出所：総務省「平成27年版 情報通信白書」)。インターネット広告市場につきましても、平成26年の市場規模は前年比12.1%増の1兆519億円と順調に拡大しております(出所：電通「2014年 日本の広告」)。また、ソーシャルゲームの市場規模は、平成26年度は6,584億円、平成27年度には7,462億円と、市場の拡大が続いております(出所：株式会社CyberZ及び株式会社シード・プランニングの共同調査情報)。

このような事業環境の中で、当社グループは良質なデジタルコンテンツをより多くのユーザーに楽しんでいただけるよう提供し続けております。その中でも受託サービスであるクライアントワーク、自社サービスであるソーシャルゲーム及び「Lobi」の3つを主要サービスと位置づけ注力し、相互にシナジーを図りながら事業を進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,143,107千円、営業利益は123,321千円、経常利益は151,685千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は99,401千円となりました。

当社グループの事業セグメントは単一セグメントであります。取扱いサービス別の売上高の概況は次のとおりであります。

① クライアントワーク

新しい技術とアイデアに挑戦し、クライアントとその先にいるユーザーに新しい体験を提供することで、クライアントのマーケティング及びブランディングに資する広告を提供しております。スマートフォンの普及や新しい技術の出現を背景に、WEB領域にとどまらないリアルと連動した案件の増加がみられております。そのような中で、積極的に業務提携を進めるとともに、VRを利用した案件等の新しい取り組みを積極的に行うことで事業領域の拡大を図っております。この結果、クライアントワーク関連の売上高は、394,670千円となりました。

② ソーシャルゲーム

平成26年9月に「ぼくらの甲子園！」シリーズの最新作となる「ぼくらの甲子園！ポケット」の配信を開始し、順調に推移しております。「共闘スポーツRPG」を軸にしたタイトルを展開しており、平成27年8月に新たに「ポケットフットボーラー」の配信を開始いたしました。この結果、ソーシャルゲーム関連の売上高は、551,199千円となりました。

③ Lobi

「Lobi」というスマートフォンゲームに特化したコミュニティ事業を進めております。プレイ動画の録画機能をはじめとした機能の拡充に努めるとともに、ビッグタイトルを中心に「Lobi」と連携するタイトル数を積極的に増加させる中でユーザー数の拡大を図っております。この結果、Lobi関連の売上高は、115,112千円となりました。

④ その他サービス

平成28年3月に「JAGMO」による公演を開催いたしました。また、「RANKERS」等の新規サービスの開発を行うとともにその他のサービスも安定的な運営ができております。この結果、その他サービス関連の売上高は、82,124千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ273,188千円増加し、2,904,283千円となりました。主な要因は、連結子会社の増加に伴うのれんの増加190,718千円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ140,238千円増加し、1,100,850千円となりました。主な要因は、前受金の増加に伴う流動負債その他の増加154,848千円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前事業年度末と比べ132,949千円増加し、1,803,432千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加99,401千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、平成28年2月15日公表の「平成27年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の予想を変更しておりません。

今後、当社グループの業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差
額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更
いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の
確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させ
る方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の
変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前連結会計年度については、連結財務諸表の組替えを
行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時
点から将来にわたって適用しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,169,313	1,056,874
受取手形及び売掛金	764,501	735,211
仕掛品	27,442	145,661
その他	107,415	145,100
貸倒引当金	△6,822	△7,776
流動資産合計	2,061,849	2,075,071
固定資産		
有形固定資産	93,693	111,298
無形固定資産		
のれん	25,855	216,574
その他	28,624	40,040
無形固定資産合計	54,480	256,614
投資その他の資産		
投資有価証券	270,013	301,135
その他	151,057	160,162
投資その他の資産合計	421,071	461,298
固定資産合計	569,245	829,212
資産合計	2,631,094	2,904,283
負債の部		
流動負債		
買掛金	139,042	154,276
短期借入金	50,000	55,931
1年内返済予定の長期借入金	158,616	149,967
未払金	147,966	158,814
未払費用	128,800	142,543
未払法人税等	136,426	62,223
その他	104,802	259,650
流動負債合計	865,655	983,408
固定負債		
長期借入金	55,330	76,045
その他	39,626	41,396
固定負債合計	94,956	117,442
負債合計	960,611	1,100,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	489,766	491,318
資本剰余金	429,766	431,318
利益剰余金	588,565	687,967
株主資本合計	1,508,098	1,610,605
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	152,815	181,028
為替換算調整勘定	—	△61
その他の包括利益累計額合計	152,815	180,967
非支配株主持分	9,569	11,861
純資産合計	1,670,483	1,803,432
負債純資産合計	2,631,094	2,904,283

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	1,143,107
売上原価	696,951
売上総利益	446,155
販売費及び一般管理費	322,834
営業利益	123,321
営業外収益	
受取利息	127
補助金収入	27,293
その他	2,855
営業外収益合計	30,276
営業外費用	
支払利息	1,084
その他	827
営業外費用合計	1,912
経常利益	151,685
特別利益	
投資有価証券売却益	1,000
特別利益合計	1,000
税金等調整前四半期純利益	152,685
法人税、住民税及び事業税	58,080
法人税等調整額	2,232
法人税等合計	60,312
四半期純利益	92,372
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,028
親会社株主に帰属する四半期純利益	99,401

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)	
当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	
四半期純利益	92,372
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	28,212
為替換算調整勘定	△61
その他の包括利益合計	28,150
四半期包括利益	120,523
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	127,552
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,028

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しています。